

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	骨粗鬆症検診受検者を対象にした骨折イベントの質問紙調査
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	新潟県労働衛生医学協会の平成13年度以降に人間ドックもしくは住民健診を受けられており、且つ骨密度検査を受けられた受診者 新潟大学大学院生活習慣病予防検査医学講座 特任教授 加藤公則
③ 概要	骨粗鬆症は国内での有病者数が1000万人超と推計されており、非常に重要な疾患ですが、これまでに国内において老若男女幅広く、大規模に骨粗鬆症や骨折の実態を調査した研究はありませんでした。 そこでこの研究では、人間ドック・住民健診の血液・尿検査、身体計測と骨密度検査などの結果に、骨折・骨密度に関わるアンケート調査を加えることで、大規模な調査集団を作り、骨密度低下や骨折発症に関わる項目を数値的に分析・探索しようと考えております。
④ 申請番号	2016-0051
⑤ 研究の目的・意義	人間ドック・住民健診の検査結果に、骨折・骨密度に関わるアンケート調査を加えて、大規模な骨粗鬆症研究を行います。それにより、日本人の骨粗鬆症の実態がより明らかになること、その次の対策を検討することを目指しております。
⑥ 研究期間	倫理委員会承認日より2026年3月31日
⑦ 情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	使用するデータは、個人が特定されないように新潟県労働衛生医学協会にて匿名化を行い、匿名化されたデータが新潟大学に提供され、研究に使用します。新潟大学以外の機関へ情報を提供することはありません。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧ 利用または提供する情報の項目	健康診査・人間ドックでの調査項目にアンケートのデータを加えて、骨粗鬆症の予測因子を大規模疫学的に調査します。 収集データには①臨床検査データ（血液検査・尿検査・骨密度）②身体計測（身長・体重・血圧等）③質問紙調査（ご本人・ご家族の骨折の有無、食事や運動等の生活習慣）が含まれています。
⑨ 利用の範囲	新潟大学大学院生活習慣病予防検査医学講座、血液・内分泌・代謝内科学講座

⑩ 試料・情報の管理について 責任を有する者	新潟大学大学院生活習慣病予防検査医学講座 特任教授 加藤公則
⑪ お問い合わせ先	内分泌・代謝内科分野、血液内科分野医局 〒951-8510 新潟県新潟市中央区旭町通一番町 TEL 025-368-9026 FAX 025-368-9300 e-mail emh@med.niigata-u.ac.jp